



# 鉄道高架化通信



第57号

令和7年9月発行

発行：豊田市建設部街路課

## ～若林駅新駅舎の外観デザインが決まりました～

### 若林駅新駅舎の外観デザインについて

鉄道高架化通信第49号でご紹介しましたデザインコンセプトをもとに、新駅舎の外観デザインが決まりました。今後、現場では外観の部材が順次組み立てられていきます。是非完成をイメージしながら現場を眺めてみてください！

### 「若林地区の地域の特性を生かしたデザインコンセプト」



### <外観デザイン>

- 緩やかな曲線  
山々の稜線や逢妻男川の流れをイメージ
  - アースカラーをベース  
稜線の緑、逢妻男川の青等
  - ガラススクリーン  
ホームに立つ人が四季の風景を感じる
  - マリオンルーバー  
高架化による地域の発展と創造
- (「鉄道高架化通信第49号」より)

### 新駅舎外観デザインイメージパース（新駅舎東側）

※図はイメージであり、細部は実際と異なる可能性があります。



### ちょっと途中下車

## ～高架化探検隊(名鉄瀬戸線喜多山駅編「高架切替完了！私たちの事業の参考になりました」)～

他の鉄道高架化事業を調査する『高架化探検隊』。今回は、以前ご紹介しました(鉄道高架化通信第46号)、国土交通省と名古屋市が事業主体となり進めている名鉄瀬戸線喜多山駅付近の高架化事業について調査しました。

以前、調査へ訪れた際には、上り線(栄町方面)のみが高架化された状況でしたが、今回、下り線(尾張瀬戸方面)側も高架切替えし、全線高架化されました。特に興味深かった点についてご紹介します。

1点目は、ホームについてです。喜多山駅のホームは、完成すると2面4線となります。今回の下り線の切替えに伴い、2面3線の利用が開始され(右の写真②参照)、残りの下り線側の高架副本線は、仮線撤去後整備される予定とのことです。若林駅についても、同じような手順でホームの整備を予定しています。

2点目は、内観についてです。改札から昇降階段までの空間『コンコース』については、改札をくぐるとすぐ左右に昇降階段があり、さらにコンコース奥の中央部分にも昇降階段が設置されています。また、この中央階段の両側には、上り線側・下り線側それぞれのエレベーターも設けられていました(右の写真③④参照)。

この調査結果をもとに、新しい若林駅の内観がどのようになるのか、あれこれ想像してみるのも楽しいですね。内観などについても、新たな情報が入手でき次第ご紹介していきます。楽しみに。

### 外観(新駅舎南側)

クヌギの木をイメージしているとのこと



写真①

### 高架切替えが完了した下り線ホーム

高架副本線工事のため工所用フェンスで仕切られていました(若林駅同様)



写真②

### 内観(コンコース)



写真③

### 内観(コンコース奥)



写真④

### 事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事

⑤ 仮線への切替  
令和5年3月

⑥ 高架本体工事開始  
令和5年5月

⑦ 高架本体への切替  
令和8年3月予定

⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了

### 問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当  
 電話番号：0565-34-6651(直通)  
 FAX番号：0565-35-8196  
 メール：gairo@city.toyota.aichi.jp